

「あすへひとこと」(邑楽町老人クラブ連合会・あすへひとこと編集委員会)は、邑楽町在住の  
お年寄りたちの貴重な体験談を、邑楽町あすへひとこと編集委員会が編集・発行したものです。

若い人たちに語り継ぎたい。そして、次の世代に  
残してほしい貴重な話しをお届けします。

お年寄りたちの貴重な体験談〈第三回〉

## あすへひとこと

昔の遊び

過日、小学校時代の同級会を、  
老人福祉センターで催しました  
ところ、四十六名の卒業生中九  
名が参加しました。そして長い  
人生をよくも生き残ったものだ  
と、お互い健康を喜び合いまし  
た。話題も主に幼少のころの昔  
の遊びに集中し、童心にかえっ  
てなつかしいひとときを過ごし  
ました。

当時、藤川地区は純農村でそ  
の戸数は約百戸、村の中央に薬  
師堂がありました。そしてその  
厨(く)に当たる部分も併せ、各種団  
体の会合から、お祭りなど村の  
行事一切がそこで行なわれたの  
で老若男女のいこいの場として  
も利用されていました。私たち  
子どもにとってもその庭が唯一

の、遊び場であったわけでした。

各家庭の家族構成を見ると七、  
八名は普通で、十名以上の大家  
族の家も何軒かあったようです。  
したがって子どもの数も多く、い  
つでも薬師堂へ行けば、遊び友  
達には不自由しないのです。大  
きないちようの木の下で、鬼ごっ  
こやかくれんぼをしたり、かご  
めかごめを歌ったりして、結構  
楽しく遊んだものです。

小学校の一、二年になると、勉



十二、三才のころには、友達と

よく太田の呑龍様へ行きました。

いえ、子どもの足でよく頑張っ  
たものです。途中出会うのは牛  
馬、荷車など。時によると隣村  
一本木から出る乗り合い馬車が、  
ラッパの音を響かせながら、走っ  
て来るのに行き会いました。



今もその姿を残す薬師堂(藤川)

ここは、藤川から西に約八キロ  
メートル、太田市にあります。  
呑龍上人を祭る大光院は、子育  
て呑龍として有名な寺で、月  
参りをする人がたくさんいまし  
た。裏が金山で、頂上まで登る  
と、南に利根川、北に渡良瀬川  
の遠景を眺めることができます。  
「藤川はあの辺だなあ」などと話  
し合いながら下りてくるのです。  
途中小さな谷川の流れてサワガ  
ニを探したり、山で栗などを拾っ  
たりしながら、家へ帰りました。

その時は何の気なしに聞いた、  
この乗り合い馬車のラッパの音  
が、今でも耳の底に残っていて、  
いつまでもたっても私の郷愁をそ  
そるのです。

今の太田市は国道百二十二号

沿いの大都市ですが、その当時  
は自転車か珍しい時代だったの  
です。金山の頂上まで往復二十

高齢者の語り第一集  
「あすへひとこと」思い出をた  
どいて」より

キロメートル、一日がかりとは

故・蜂須崎 一郎さん(藤川・一六区)



## まの風景

明け方のコン  
ラスト(県立多々  
良沼公園付近)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

## ひとりごと From editors

▼「なでしこジャパン」がワールドカップ優勝という素晴らしい快挙を達成、日本中に大きな感動と勇気を与えてくれました。決勝のアメリカ戦で、点を取られても取り返すという激戦を勝ち得たのも、選手たちの「決してあきらめない」という気持ちがあったからだと思います。▼監督や選手のインタビューで、「心が折れそうになったことはなかった」、「一度も負ける気がしなかった」、「優勝するシーンしか想像できなかった」などのコメントは、彼女たちの「決してあきらめない」という強い気持ちの表れだと思います。今、日本は大変な状況になっていますが、「なでしこジャパン」を見習っていきたいと思います。(多)

## 広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成23年8月号 No.539

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5111 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail [koho@town.ora.gunma.jp](mailto:koho@town.ora.gunma.jp)

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

